

九州・沖縄地方成長産業戦略におけるプロジェクト進捗状況まとめ(平成26年9月時点)

資料2

| 分野 | NO | プロジェクト名 | 目的・取組の概要 | 幹事 | 問合せ先 | 進捗状況等 |
|---------------------------|----|------------------------------|--|-------------------------------|---|---|
| クリーン (エネルギー・次世代自動車・環境) | 1 | 再生可能エネルギーの産業化に向けたアクションプランの策定 | 九州では再生可能エネルギー及び水素でポテンシャルが高く、先進的な取り組みが始まっている。一方、海洋エネルギー分野など産業化まで至っていないものや、企業参入が限定的等の課題がある。また、国際競争力強化も課題の一つである。こうした課題解決に向け、再生可能エネルギー等の分野にて国際市場で戦える産業を構築するために、九州の産官学が連携して取り組むべき事項を明らかにする。 | 九経連、九州経済同友会、九州地域産業活性化センター、長崎県 | 一般社団法人九州経済連合会 環境部 TEL092-761-4261 | 【進捗状況】 九州地域戦略会議等において、平成25年4月に設置された「再生可能エネルギーの産業化検討委員会」にて検討。重点すべき分野として地熱、海洋、水素の3分野に絞り込み、各々のWGを立ち上げた。 【今後の方針】 平成27年5月に検討結果の最終取りまとめを行い、平成27年6月の九州地域戦略会議に報告する。 |
| | 2 | 九州水素エネルギー社会実現プロジェクト | 全国に先駆けて九州で水素エネルギー社会の実現を目指し、燃料電池自動車(FCV)の普及と水素ステーションの整備の一体的な推進、定置型燃料電池の普及促進により、水素エネルギー関連産業の育成・集積を図る。 | 福岡県 | 福岡県 商工部新産業振興課 水素班 TEL092-643-3448 | 【進捗状況】 水素エネルギー製品研究試験センターにおいて、大型高圧水素貯蔵タンクの製品試験を行う新試験棟が稼働。九州大学では、次世代燃料電池の開発に加え、系統電力との連系や再生可能エネルギーからの水素製造などを行う「スマート燃料電池社会実証」が開始。燃料電池自動車の率先導入や魅力発信に官民一体で取り組む、ふくおかFCVクラブが発足するなど普及に向けた取組みを展開。 【今後の方針】 「再生可能エネルギーの産業化検討委員会」の水素WGにて、九州一体となった取組みについて平成27年2月までにとりまとめる。水素ステーション整備エリアの拡大、次世代燃料電池の実用化加速、再生可能エネルギーからの水素製造モデル事業の推進などに取組むことで市場創出に寄与しつつ、水素エネルギー・燃料電池関連産業の育成・集積、関連製品の開発・生産拠点化を目指す。 |
| | 3 | 地熱エネルギー産業拠点化推進プロジェクト | 地熱エネルギーの産業拠点化を図るため、豊富な地熱資源や地熱関連企業の技術力を生かして、九州全域で地熱開発に向けた詳細調査、温泉発電などのプロジェクトを加速するとともに、東南アジアなどポテンシャルが高い海外への事業展開を目指す。 | 大分県 | 大分県 商工労働部工業振興課 エネルギー政策班 TEL 097-506-3263 | 【進捗状況】 「再生可能エネルギーの産業化検討委員会」の地熱WGで、地熱関連企業のリスト化、現状と課題等の整理を行い、地熱温泉熱利用技術の向上、利用技術のモデル化、海外展開等について取り組むべき事項を検討中。また、九州各地で実証事業、調査事業などが実施されている。 【今後の方針】 「再生可能エネルギーの産業化検討委員会」の地熱WGにて、九州一体となった取組について平成27年2月までにとりまとめる。また、地熱・温泉熱に関する情報一元化などを検討するとともに、地熱開発理解促進関連事業支援補助金などを活用し、地熱利用に関するモデル実証事業等の展開を図る。 |
| | 4 | 海洋再生可能エネルギー産業の拠点形成プロジェクト | 海洋再生可能エネルギーに関する自然条件や大学等研究機関の知見、充実した港湾インフラと広大な産業用地といった、九州の高いポテンシャルを活かし、関連拠点を整備するとともに、商用化フィールドを併せて確保することで、九州地域における需要を拡大し、関連企業や研究機関の集積を図り、産業拠点を形成する。 | 長崎県 | 長崎県 産業労働部 産業政策課企画調整班 TEL095-895-2614 | 【進捗状況】 北九州響灘沖、長崎県五島沖で洋上風力発電の実証事業が実施されているほか、平成26年7月1日、内閣官房総合海洋政策本部により佐賀県・長崎県・沖縄県を含む4県6海域の海洋再生可能エネルギー実証フィールドが選定された。実証フィールドはあらかじめ環境や景観の保全、海域利用者等との調整を図り、海洋エネルギーの活用に向けた実証を促進するもの。 【今後の方針】 今後、実証フィールドへのプロジェクト誘致を図るほか、「再生可能エネルギーの産業化検討委員会」の海洋エネルギー産業の拠点化WGにて、九州一体となった取組について平成27年2月までにとりまとめる。 |
| | 5 | 北部九州自動車産業アジア先進拠点推進プロジェクト | 次世代自動車の生産・開発拠点化に向け、地元企業の開発・提案力の向上や生産技術の高度化支援、産業人材の育成、次世代自動車に関する自動車メーカー等の生産・研究開発機能の誘致等を推進する。 | 福岡県 | 福岡県 商工部自動車産業振興室 企画班 TEL092-643-3447 | 【進捗状況】 九州7県が一体となった九州自動車・二輪車産業振興会議や各県の支援策等により、地元企業の生産技術向上や人材育成に取り組むと共に、電子・電装系企業の取引拡大に向けた研究会、商談会開催等の取組みを進め、自動車産業の生産拠点化に資する取組みを推進。 【今後の方針】 次世代自動車の先進的な普及に向け、FCVクラブの設立や水素ステーション整備に取り組んでおり、こうした取組みを通じて更なる集積の拡大と地元企業の競争力強化を図る。 |

| 分野 | NO | プロジェクト名 | 目的・取組の概要 | 幹事 | 問合せ先 | 進捗状況等 |
|----|----|---------------------------|--|---------|--|--|
| | 6 | 九州スマートコミュニティ産業化プロジェクト | 北九州市や水俣市などにおけるスマートコミュニティ実証実験の成果や、課題と解決方策、新たな候補地等に関する情報などを九州地域で共有し、再生可能エネルギーや基幹エネルギー、省エネルギーなどを組み合わせたエネルギー需給の最適化を他地域に先駆けて実現するとともに、関係産業の集積、新産業の創出等を目指す。 | 福岡県 | 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課エネルギー政策室 企画班 TEL092-643-3225 | 【進捗状況】 九州スマートコミュニティ連絡会を中心に先導地域における実証事業に協力するとともに、その成果等を発信するセミナーを開催。福岡県みやま市で新たな実証事業が開始されるなど、取組みは着実に進展。 【今後の方針】 先進事例の成果に加え、スマートコミュニティ構築に向けた課題等の情報共有・情報発信を進める。また、先導的取組の更なる展開のため、関係機関との調整を図る。 |
| | 7 | 有機光エレクトロニクス産業拠点化プロジェクト | 九州を有機光エレクトロニクス関連産業の拠点とすることを目的として、九州全域の半導体関連企業等による共同開発や、有機光エレクトロニクスの特性(低消費電力、軽量・薄型化、フレキシブル等)を活かした用途開発による有機光エレクトロニクス関連産業への参入促進、関連企業の誘致を実施する。 | 福岡県 | 福岡県 商工部新産業振興課 半導体・ロボット・有機EL班 TEL092-643-3453 | 【進捗状況】 有機光エレクトロニクス産業振興のために整備した拠点施設(有機光エレクトロニクス実用化開発センター、(公財)九州先端科学技術研究所有機光デバイス研究室、くもと有機薄膜技術高度化支援センター)を活用し、共同研究やセミナーを実施中。文部科学省、NEDO、JST等の国の資金を活用することで、研究開発を多方面に展開し、有機EL関連の実用化等を進めている。 【今後の方針】 高度な研究開発やセミナーの実施などを通して、本地域が国内有数の有機EL関連技術の研究拠点であることをアピールし、企業の参入や誘致につなげていく。 |
| | 8 | アジア・クリーンクラスター戦略分野展開プロジェクト | 九州地域の強みであるクリーン分野(環境・エネルギー・次世代自動車)の技術融合、先端産業と地域産業との融合によるイノベーション創出のための取組を加速させ、国内の市場変化やアジア等の海外市場に対応したビジネスを組成し、当該分野の国際競争力が増すことで、急速に拡大するクリーン分野の世界市場を九州の企業が獲得する。 | 九州経済産業局 | 九州経済産業局 資源エネルギー環境部環境対策課 TEL:092-482-5499 | 【進捗状況】 中国やマレーシアにおける環境ビジネス組成に向け、研究会の開催、現地市場のマーケティング調査、経済交流ミッションの実施。また、他地域と連携し、新産業・新事業を内発的に創出するためのアライアンスマッチングを実施。 【今後の方針】 ベトナム等ASEAN地域との交流拡大に向け、関係機関との連携強化による海外プロジェクトの具体的な案件組成を目指す。また、異業種融合等によるビジネスマッチングを行い、クリーン分野の新事業創出を図る。 |
| | 9 | ヘルスケア産業振興プロジェクト | 半導体関連産業やロボット産業等の蓄積技術の活用、最先端医療新サービス拠点整備や高齢化市場の早期到来等に対応した地域萌芽と特性を踏まえ、東九州メディカルバレー構想等地域プロジェクトと連携し、医療・福祉機器関連産業及び医療・介護周辺サービス業の創出と集積、さらには積極的な海外展開を図り、「健康寿命が延伸する社会」の構築の実現を目指す。 | 大分県 | 大分県 商工労働部産業集積推進室 新産業支援班 TEL097-506-3271 | 【進捗状況】 「社会構造の変化に対応した地域づくりとヘルスケアサービス創出のあり方」、「医療機器の特殊性を踏まえた事業化支援プラットフォームの整備」について議論を行い、問題意識を共有しヘルスケア産業振興を進めている。 【今後の方針】 医療機器分野では、医療現場のニーズ把握、承認や製造許可取得をはじめ薬事法上の規制など高いハードルがあり、その対応として、専門人材の広域的ネットワークを構築し、入口(ニーズ把握)から出口(販路開拓)までシームレスに対応する「医療機器等・事業化支援プラットフォーム」を整備し、環境整備支援に注力する。 |
| | 10 | 九州次世代創薬拠点化プロジェクト | 九州をがんワクチンや核酸医薬などの次世代創薬技術の開発・治療の拠点とすることを目的として、各県内医学部などの創薬シーズ探索や有望な創薬ベンチャーの支援などを通じて、世界最先端の創薬技術の実用化に取り組む。 | 福岡県 | 福岡県 商工部新産業振興課 バイオ・食品班 TEL092-643-3445 | 【進捗状況】 福岡県バイオ産業拠点推進会議(事務局:(株)久留米リサーチ・パーク)を中心に久留米大学発ベンチャーの「がんペプチドワクチン」の第 相臨床試験が進められている。また、核酸医薬の開発では、創薬ベンチャーと大手医薬品原料メーカーの業務提携が図られ開発が進められている。 【今後の方針】 九州国際重粒子線がん治療センターにおける重粒子線治療と久留米大学のがんワクチンの併用療法の共同開発など各県と連携した取り組みについて検討を進めていく。 |

| 分野 | NO | プロジェクト名 | 目的・取組の概要 | 幹事 | 問合せ先 | 進捗状況等 |
|------------------|----|---------------------|---|-------------|---|--|
| 医療・ヘルスケア・コスメティック | 11 | バイオ産業振興プロジェクト | 九州の豊富な農林水産資源や、伝統的に育まれた発酵・醸造技術の蓄積、それらを活かした健康食品・機能性食品産業やバイオ関連の企業や大学・研究機関等の集積を踏まえ、フランスフードクラスターなど海外の支援機関と連携し、機能性食品・健康食品の開発、さらには予防医学・サービス産業への展開を目指し安全・安心な「フード・健康アイランド九州」を構築する。 | 熊本県 | 熊本県 商工観光労働部産業支援課 新産業振興班 TEL096-333-2321 | 【進捗状況】 熊本県、九州地域バイオクラスター推進協議会を中心に各県等と連携し、当該プロジェクトを推進。各県ともに県単位で、開発拠点やコーディネート機能の整備、研究開発支援などを通じて企業の新商品等開発、販路開拓支援などを実施。九州地域バイオクラスター推進協議会では、オメガ3プロジェクト等のフランスフードクラスターとの連携や機能性食品・健康食品の開発・アライアスマッチングなどの活動を、九州ワイドで実施中。 【今後の方針】 新たな機能性表示制度の施行など市場の動向等を踏まえ、各県及び協議会との情報交換を進め、九州ワイドでの活動につなげていく。また、各県、協議会での事業成果をさらに高めていくために、各県公設試の分析機器等の相互利用の拡大など各県間での連携強化や九州地域バイオクラスター推進協議会との連携事業などの検討を進める。 |
| | 12 | 唐津コスメティック構想推進プロジェクト | 唐津市・玄海町を中心とした、北部九州一帯に化粧品関連産業を集積し、豊富な自然が育んだ天然由来原料と、高い技術と品質を誇る企業によって創られた安全・安心なコスメティック商品を、成長著しいアジアに展開していく。 | 佐賀県 | 佐賀県 農林水産商工本部 コスメティック構想推進グループ TEL0952-25-7397 | 【進捗状況】 H25.11月設立のジャパン・コスメティックセンター(JCC)を中心に、フランス・コスメティックバレーとの経済交流、原料の勉強会、専門コーディネーターの配置など、JCCが策定した計画に基づき、着実に進展。唐津市では、総務省機能連携広域経営推進調査事業により、原料開発の基盤となる機器購入を予定。また、経産省地域資源活用ネットワーク構築事業のプラットフォーム組織「美旅ネットワーク戦略会議」をH26.9月に発足した。 【今後の方針】 美旅戦略会議において年度内に地域資源を活用した商品・サービス等の開発戦略を策定する。また、JCCの新たな会員企業の拡大とコーディネート機能の強化によるプロジェクト実現に取り組んでいく。 |
| 農林水産業・食品 | 13 | 『九州』ブランド確立プロジェクト | 海外における「九州」の認知度・存在感の向上 ・九州各県一体となった農林水産物・食品の海外向けPRや情報発信、「食」をテーマにしたプロモーションを実施する。 ・「農林水産業・食品」分野における『九州』ブランドを確立し、海外における認知度向上と交流人口の増加、アジアを中心とした海外への販路拡大、自県産品の新たな販路開拓、輸出促進を図る。 | 鹿児島県 | 鹿児島県 商工労働水産部商工政策課企画調整係 TEL099-286-2929 | 【進捗状況】 各協議会等において、九州各県が一体となったプロモーションを実施することで、「九州」の海外における認知度向上を目指す。また、九州経済連合会が中心となり、香港及びシンガポールにオール九州の直売小売店「九州産直市場」設置に向けた市場調査を実施中。 【今後の方針】 「オール九州農水産物トレードフェアinシンガポール」、「九州食品輸出商談会」などを実施。また、「九州産直市場」の設置に向け関係機関との調整を図る。 |
| | 14 | 九州木材活用促進プロジェクト | 九州の木材生産のポテンシャルは高く、今後は戦後造林した人工林が収穫期を迎えるため、九経連が策定した「九州地域の森林・林業・木材産業アクションプラン」に基づく移出・輸出や土木用材等への利活用を官民連携して実施する。 | 九州次世代林業特別部会 | 一般社団法人九州経済連合会 産業第一部 TEL092-761-4261 | 【進捗状況】 国の「森林・林業再生プラン」を踏まえて策定した「九州地域の森林・林業・木材産業アクションプラン」(平成25年5月)を、九経連・九州森林管理局・九州7県の林政課等の関係者による九州次世代林業特別部会のもと、各県が一体となって実施。 【今後の方針】 アクションプランに基づき、事業WGでモデル地域(対馬・筑後川・霧島)における川上～川下まで一体となった交流会等を実施するとともに、調査・研究WGで木材産業の利活用拡大に向けた調査・研究を進め、林業のビジネスモデル確立など、成功事例を創出する。 |
| | 15 | 九州水産産業活性化プロジェクト | 世界の水産業が右肩上がりの成長を続けているのに対し、日本の水産業は低迷の一途。漁獲量・生産額ともに世界の潮流とはかけ離れた動き。こうした状況を打開するため、九州地域ひいては我が国の水産業振興のための提言を策定(平成26年3月)。本提言実現に向け、今後10年間の水産業振興を図る九経連としてのアクションプランを平成26年11月を目途に策定中。 | 九州経済連合会 | 一般社団法人九州経済連合会 産業第一部 TEL092-761-4261 | 【進捗状況】 養殖漁業の輸出産業化、新たな流通システムの構築、漁村ビジネスの推進の3本からなる「九州地域の水産業振興に関する提言(平成26年3月)」の実現に向け、平成26年11月を目処にアクションプランを九経連を中心に策定中。 【今後の方針】 制度改正などを伴う内容も含んでおり、要請活動等とともに体制整備を進め、定められるアクションプランを着実に実施していく。 |

| 分野 | NO | プロジェクト名 | 目的・取組の概要 | 幹事 | 問合せ先 | 進捗状況等 | |
|-------|-----------|-------------------------|---|--|--|---|---|
| | 16 | 農山村再生可能エネルギープロジェクト | 農山村に豊富に潜在するエネルギー資源の有効利用、特に熱として積極的に利用することにより、新たな産業やビジネスモデルを創出するとともに、農山村における新たな付加価値や雇用機会の創出による地域の活性化を目指す。 | 宮崎県 | 宮崎県 農政水産部農政企画課 農政計画担当 TEL0985-26-7426 | 【進捗状況】 農山村における再生可能エネルギーの有効利用に向けた個別プロジェクトを、他県とも連携を図りながら、農水省・環境省の補助事業等を活用し、実施中。 【今後の方針】 個別プロジェクトの進展に伴い、九州各県の取り組みとの連携など九州全体の取り組みへの検討を進める。 | |
| | 17 | 農業バリューチェーン・中核人材育成プロジェクト | 九州各地が連携して、地域の「農林水産物・食材」を、「観光資源」や「文化価値」等と組み合わせ、国内外に向けて訴求力のある商品化やストーリー性のある情報発信を行う「農業バリューチェーン」を構築する。これらを推進するため、生産者や関係業界の交流やビジネスマッチング、次世代の中核人材の育成を図る。 | 九州経済産業局 | 九州経済産業局 産業部農業成長産業化支援室 TEL092-482-5540 | 【進捗状況】 「九州農業成長産業化連携協議会」の流通部会において、農業バリューチェーン構築を推進する上でのモデル事業となる、平成26年経産省支援事業「鉄道遺産・肥薩線を活用した地域産直・広域集客ネットワーク構築事業」について事業実施中。 【今後の方針】 農業の成長産業化実現へ向けたバリューチェーン構築のための人材関連調査においてそれぞれのステージにおいて必要な人材スキルの検討、その人材育成についての方策について平成27年3月までに取りまとめる。 | |
| 観 | 光 | 18 | 九州観光戦略プロジェクト | 九州への国内観光需要を喚起するとともに、急速に成長するアジアをはじめとする世界の観光需要を取り込むため、九州一体の観光プロモーションを強化する。特に海外からのインバウンド誘客の取組みを強化することにより、九州経済の活性化、雇用機会の増大などにつなげる。 | 福岡県 | 福岡県 商工部観光・物産振興課 観光企画班 TEL092-643-3429 | 【進捗状況】 第二期九州観光戦略(H25.5月策定)及びアクションプランに基づき、九州観光推進機構を中心に事業を実施。九州統一のロゴマークの決定、特区ガイドの育成、九州オルレオコースの開発など着実に進展。 【今後の方針】 特区ガイドの育成の継続、外国人向け高速道路料金定額サービスの実施を進めるとともに、無料公衆無線LANの整備促進、沖縄との連携による周遊ツアーの開発など更なる環境整備について検討する。 |
| 横断的取組 | 国際化 | 19 | グローバル人材の育成・活用促進プロジェクト | 九州圏内の産学官との連携を強化し、九州企業のグローバル化に資する人材を育成し、インターンシップや企業交流会等を通じグローバル人材の九州企業への就職を促進する。 | 九州グローバル産業人材協議会 | 一般社団法人九州経済連合会 国際部 TEL092-761-4261 | 【進捗状況】 九州グローバル産業人材協議会を通じ、主にアジアからの留学生が地場中小企業へ就職するよう、インターンシップや就職マッチング、外国人社員研修等の就職及び定着支援事業をオール九州で実施することにより、地場中小企業への就職者数が着実に増加した。 【今後の方針】 留学生等グローバル人材の協議会事業への参加者数を増加させるために、その育成・輩出機関である大学等の協議会事業に対する積極的関与の強化を図るとともに、採用企業の裾野拡大を図るため、成功事例紹介等による普及啓発の一層の強化する。また、次年度以降の予算の獲得に向け関係機関と調整を図る。 |
| | ものづくり基盤技術 | 20 | ものづくりにおける組込みソフトウェアへの軽量Ruby活用促進プロジェクト | 九州・沖縄地域の製造業、ソフトウェア開発企業に、九州発の生産性の高い組込み向けプログラミング言語「軽量Ruby」による組込みシステムを普及させることで、域内のものづくり基盤技術の高度化を図る。 | 福岡県 | 福岡県 商工部新産業振興課 Ruby・コンテンツ班 TEL092-483-1225 | 【進捗状況】 NPO法人軽量Rubyフォーラムを中核機関として、技術情報の発信等を行うセミナーを九州各県で実施。普及に努めているところ。 【今後の方針】 実用化の段階に入ってきた軽量Rubyの活用メリットなどをPRし、各県のニーズに合わせた研修を計画するとともに、周辺ツール等の拡充も図り、軽量Rubyによる組込みシステムの開発に取り組む企業を増やしていく。 |
| | 創業・ベンチャー | 21 | 創業・ベンチャー企業創出プロジェクト | 世界で活躍できるベンチャー企業の創出を図り、産業の新陳代謝促進、経営資源の有効活用、雇用の創出等により、九州から我が国経済の活性化を図る。 | 福岡県・福岡市 | 福岡県 商工部中小企業振興課新事業展開支援室 新分野推進班 TEL092-643-3449 福岡市 経済観光文化局新産業・立地推進部創業・大学連携課 TEL092-711-4455 | 【進捗状況】 国家戦略特区に福岡市が指定(平成26年5月1日)。スタートアップカフェの設置(10月11日)、雇用労働相談センターの設置(11月予定)、MICE誘致に向けたにぎわいづくりのための道路占有事業計画の策定など、着実に進展。また、「フクオカベンチャーマーケット(FVM)」、「九州中小・ベンチャー企業IPO支援プロジェクト(QSP)」、「(一社)九州ニュービジネス協議会」により起業家の育成や商談会等のビジネス支援を実施している。 【今後の方針】 フクオカベンチャーマーケットや福岡ベンチャークラブによる起業家支援、国家戦略特区による税制要望、規制緩和、首都圏への販路開拓支援等により、ベンチャー企業の創出を進める。 |

| 分野 | NO | プロジェクト名 | 目的・取組の概要 | 幹事 | 問合せ先 | 進捗状況等 |
|-----------|----|-------------------|--|-------------|--|---|
| 九州～沖縄連携事業 | 22 | 九州 - 沖縄連携推進プロジェクト | 成長を続けるアジア市場は、今後さらに拡大・多様化していくと予想されており、当該市場に近接する九州・沖縄地域においては、アジア市場に向けヒト・モノの流れを活性化させていくことが重要である。その実現に向けては、九州・沖縄双方に多様に存する地域資源、技術、人材等を活かし重層的に連携していくことが不可欠である。このため、九州・沖縄の連携によるアジア市場等への展開に向けた関係者の意識醸成、その基盤となる九州 - 沖縄の各種連携協定の締結、展開方策などを具体化し取組を加速していくため、準備会を設置し具体的方策を検討するとともに取組につなげていく。 | 沖縄県・沖縄総合事務局 | 内閣府沖縄総合事務局 経済産業部企画振興課 TEL098-866-0031 沖縄県 商工労働部産業政策課 産業振興企画班 TEL098-866-2330 | 【進捗状況】 九州・沖縄両地域の観光連携を検討するWG(事務局:一般社団法人九州経済連合会・一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー)において、共同商品(クルーズ船周遊商品等)造成、共同プロモーションに関する方策を検討。市場ニーズ調査等を引き続き行う。 【今後の方針】 医療機器等開発の方向性等については、医工連携研究会で検討予定。当研究会の委員の1機関として九州ヘルスケア産業推進協議会が参加。食品のアジア展開については九経連等との検討を進める予定。相互がWINWINの関係になるモデルを如何に作っていくか模索段階にあり、関係者との協議の場を設定し、検討を図る。 |